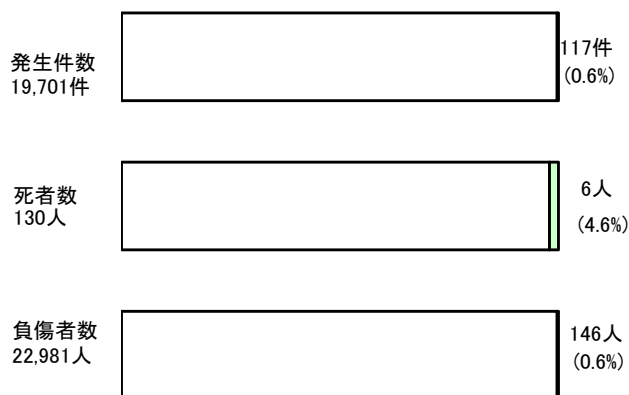


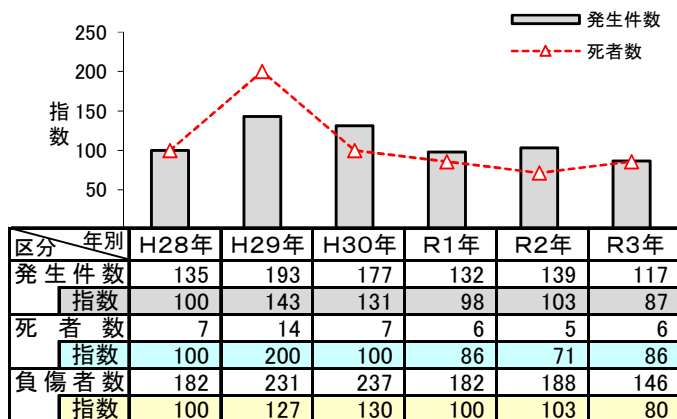
(7) 飲酒運転による交通事故

飲酒運転事故とは、原付以上の運転者(第1当事者)が酒気を帯びていた状態で起こした事故件数をいう。死者数、負傷者数は飲酒運転事故による死傷者数をいう。

○ 原付以上運転者(第1当事者)が起こした事故に占める割合

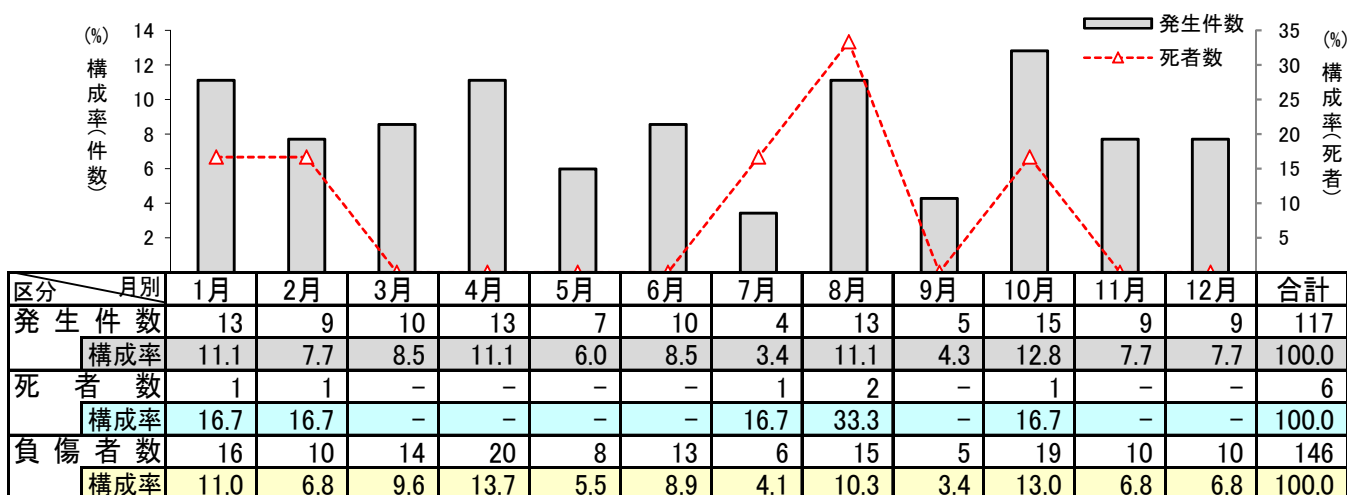


○ 年別推移



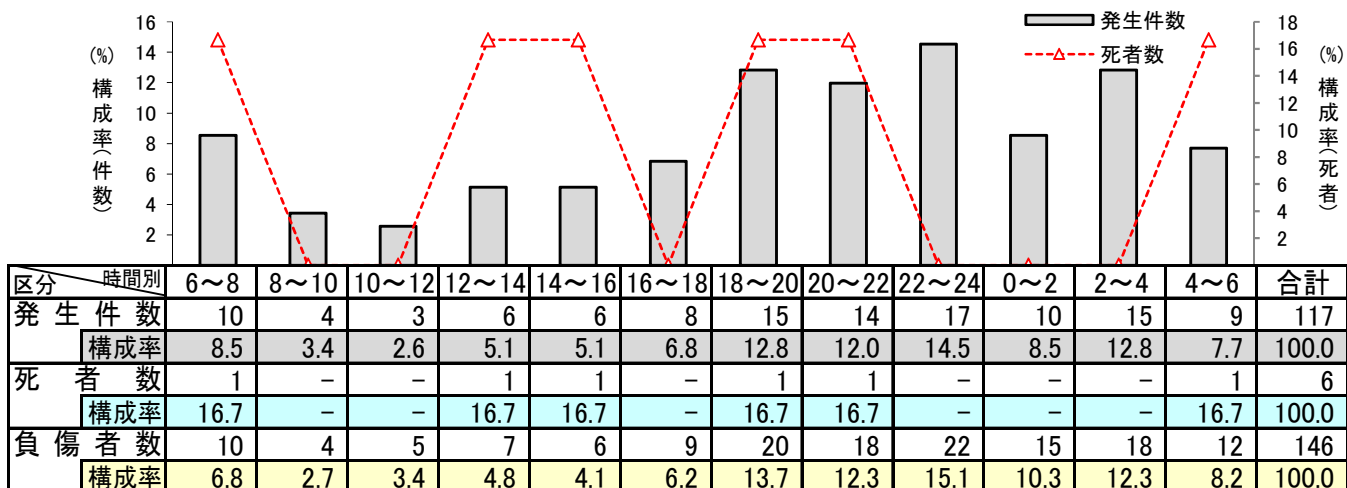
○ 何月に多いか

- 発生件数は10月が多く、死者数は8月が多かった。



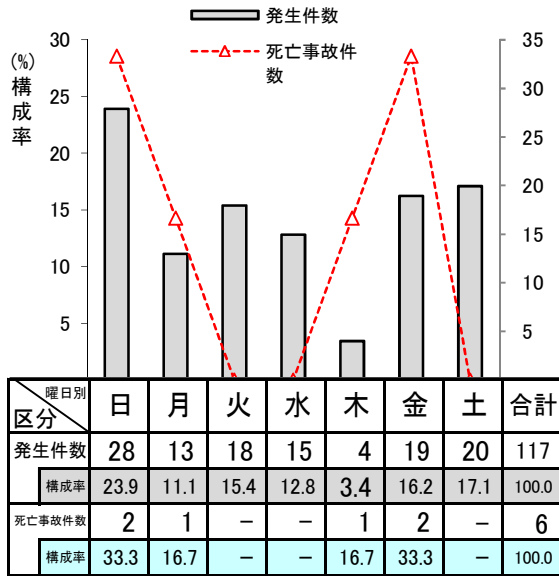
○ 何時に多いか

- 発生件数は22時から24時までが多かった。



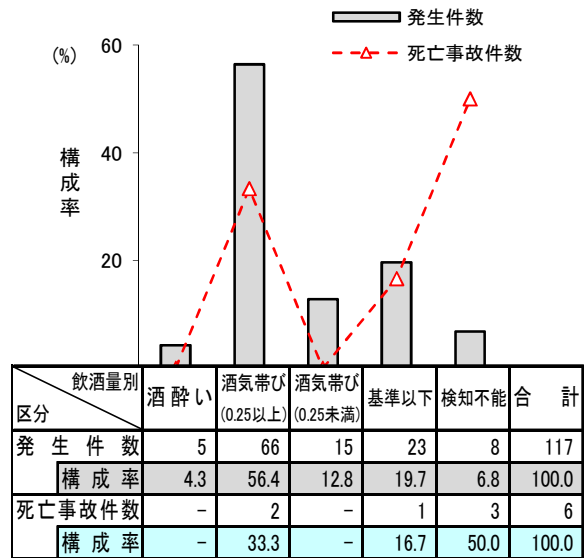
○ 何曜日に多いか

- 発生件数は日曜日が多かった。



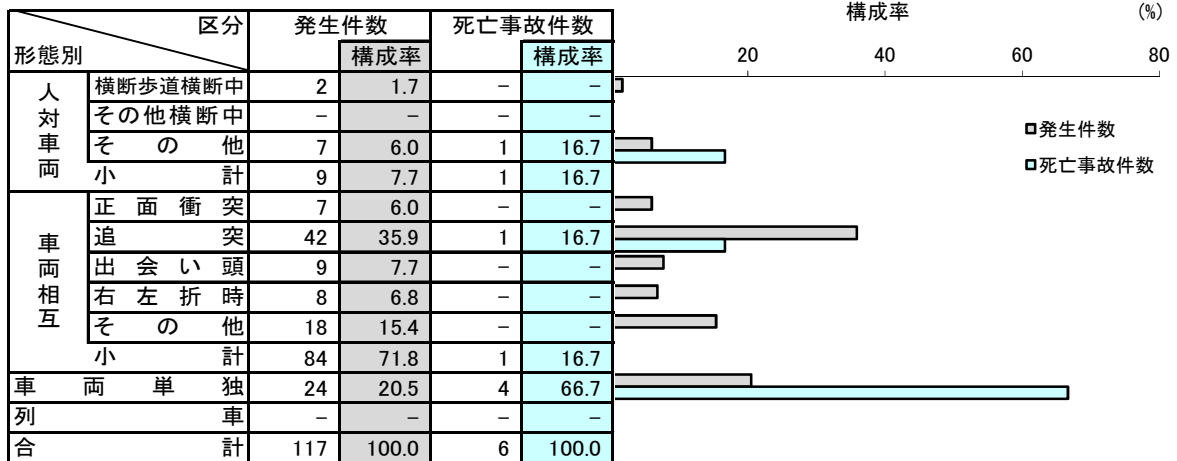
○ 飲酒量別の件数

- 発生件数は酒気帯び(0.25以上)が多く、死亡事故件数は検知不能が多かった。



○ どの事故形態が多いか

- 発生件数は、「車両相互」が約7割を占め、中でも追突事故が多かった。
- 死亡事故件数では、「車両単独」が多かった。



○ どの年齢に多いか

- 発生件数は40歳代が多かった。
- 死亡事故件数は20~29歳が多かった。

